

2	法定	自主
○		

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和7年5月27日

横須賀市長 殿

提出者

住 所 神奈川県横浜市港南区港南台9-27-6  
天正ビル230

氏 名 世紀東急工業株式会社 港南営業所

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 045-830-5731

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	世紀東急工業株式会社 港南営業所		自 主 管 理 事 業 登 録 番 号 ( 2746 )
事 業 場 の 所 在 地	TEL(連絡先): 神奈川県横浜市港南区港南台9-27-6 天正ビル203		
計 画 期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	Dー建設業 (具体的には) 総合工事業		
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	219 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	17		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	○がれき類⇒破碎⇒再資源化 ○汚泥⇒焼却⇒再資源化 ○木くず⇒破碎⇒再資源化 ○混合廃棄物⇒破碎⇒再資源化		
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

## ①本社

→環境対策委員会

(基本方針の立案、情報・資料の収集及び調査、教育マニュアルの作成、法令の改正、行政官庁の指導 等)

## ②横浜支店

→環境対策委員会

(産業廃棄物処理等の基本計画、協力業者の選定及び指導管理、基本契約の締結、法令改正の指導内容周知 等)

## ③港南営業所

→環境対策委員会

(実施計画書の作成、発生量、排出量の把握、協力会社への指導管理 等)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類数

5 種類

\* 種類ごとの前年度排出量  
は、別紙のとおり。

① 排出量

1,989.0 t

## (これまでに実施した取組)

## ① 現状

建設業は請負業であり、当社が設計・施工の場合は建設副産物等の考慮をし計画・設計をするが、ほとんどの工事は発注者の設計書に基づき施工している為、施工計画の段階までは発注者の仕様になっている。しかしながら施工計画の作成にあたり発注者と協議し排出抑制の提案などを行っている。

## 【(令和7年度)目標】

産業廃棄物の種類数

5 種類

\* 種類ごとの本年度排出目  
標量は、別紙のとおり。

① 排出量

816.0 t

## (今後実施する予定の取組)

## ② 計画

施工計画書作成段階から産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として再利用できる方法を検討し発注者に提案していく。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

## (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## ① 現状

当社の工事は土木工事が主で、特に舗装工事が多くそこから発生する産業廃棄物の種類は少ない。また発生する産業廃棄物はガレキ類(アスファルトコンクリート、セメントコンクリート)がほとんどの状況であり、中間処理場の受け入れは混合で受け入れ可能な場合は多いが、再利用の観点から現場において積込み時に分別排出を行っている。その他の産業廃棄物は少量の場合が多く、分別のためのボックスの種類を多くして分別している。

## (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## ② 計画

分別に関する目標設定・具体的取り組み(作業・分別方法の改善、分別施設の設置改善、委託方法等)目標としての数値目標はないが、排出の種類ごとの混廃ボックスの細分化を図っていく。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
① 現状			該当無し
	【(令和 7 年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			該当無し

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
① 現状			該当無し
	【(令和 7 年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			該当無し

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和 6 年度)実績】	
① 現状	<p>③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 0 t * 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。</p> <p>(これまでに実施した取組) 該当無し</p>
【(令和 7 年度)目標】	
② 計画	<p>③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 t * 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。</p> <p>(今後実施する予定の取組) 該当無し</p>

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和 6 年度)実績】											
① 現状	<table border="1"> <tr> <td>⑩ 全処理委託量</td><td>1,989.0 t</td></tr> <tr> <td>⑪ 優良認定処理業者への処理委託量</td><td>2.4 t</td></tr> <tr> <td>⑫ 再生利用業者への処理委託量</td><td>1,989.0 t</td></tr> <tr> <td>⑬ 認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td></tr> <tr> <td>⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td></tr> </table> <p>(これまでに実施した取組) 最終処分場の現地確認を行っている。</p>	⑩ 全処理委託量	1,989.0 t	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,989.0 t	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0 t	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
⑩ 全処理委託量	1,989.0 t										
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t										
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,989.0 t										
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0 t										
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t										

	<p><b>【(令和 7 年度)目標】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>⑩ 全処理委託量</td><td>816.0 t</td><td rowspan="4">* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。</td></tr> <tr> <td>⑪ 優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td></tr> <tr> <td>⑫ 再生利用業者への処理委託量</td><td>816.0 t</td></tr> <tr> <td>⑬ 認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td></tr> </table>	⑩ 全処理委託量	816.0 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t	⑫ 再生利用業者への処理委託量	816.0 t	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t	
⑩ 全処理委託量	816.0 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。									
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t										
⑫ 再生利用業者への処理委託量	816.0 t										
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t										
② 計画	(今後実施する予定の取組)  最終処分場の現地確認を定期的に行う。										
※ 事務処理欄											

## 備考

- 1 この様式は、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。

また、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

## 別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア. 燃え殻
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



不要物等発生量

有償物量

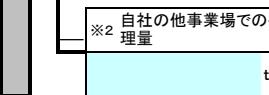
自社の他事業場からの搬入量

① 当該事業場における排出量

t



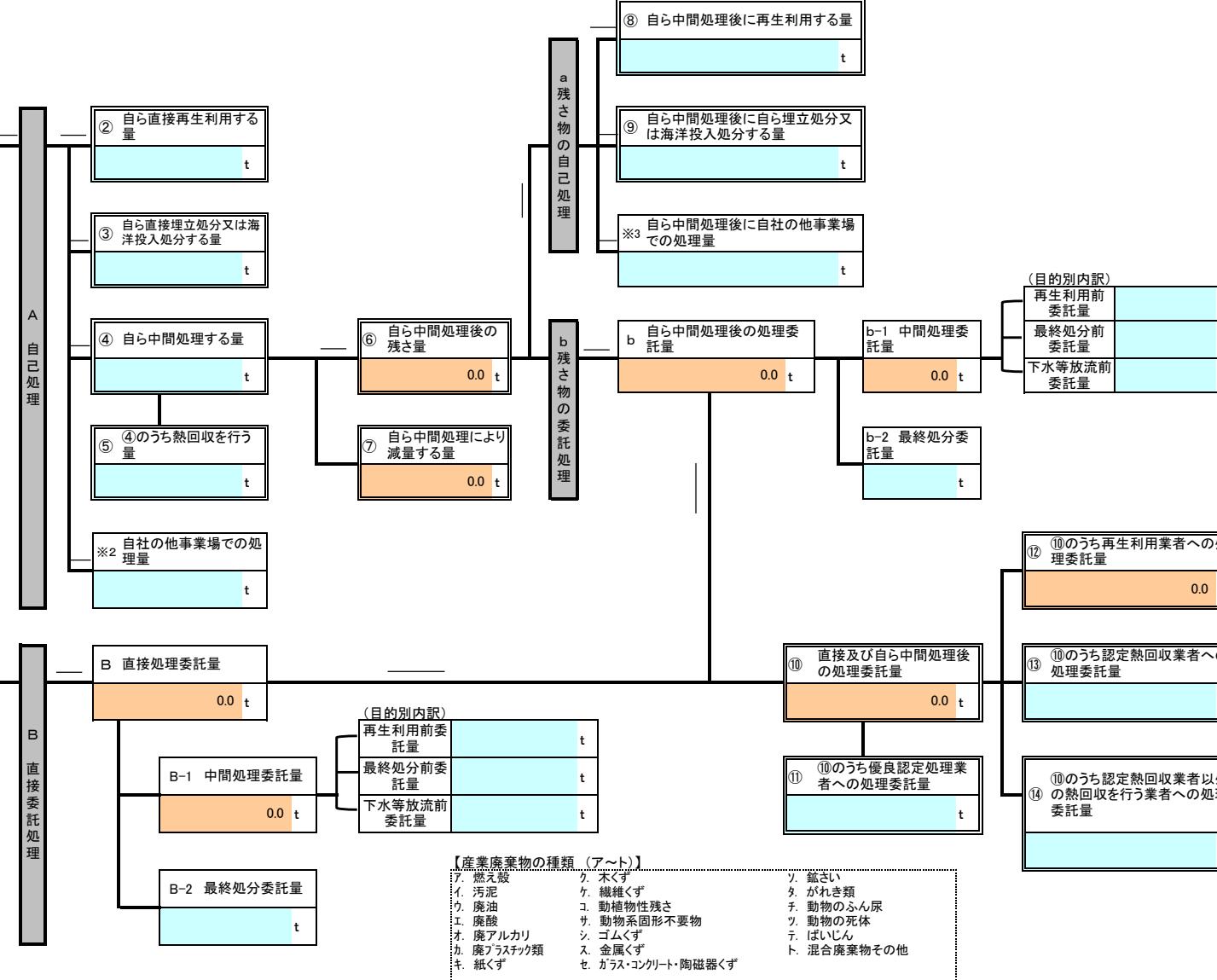
A. 自己処理



B. 直接委託処理

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



## 【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ル. 木くず
- ル. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不要物
- シ. コムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

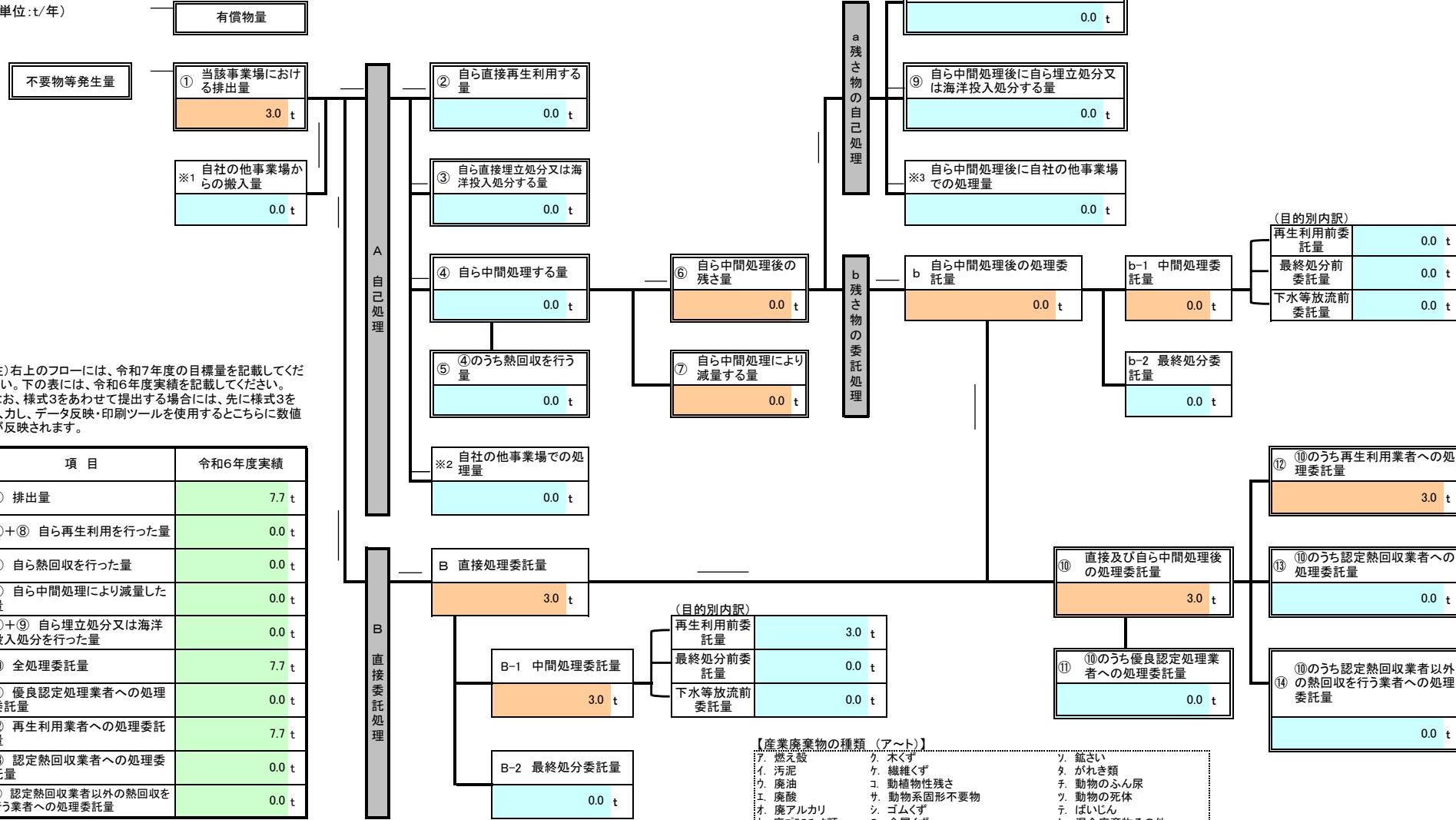
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

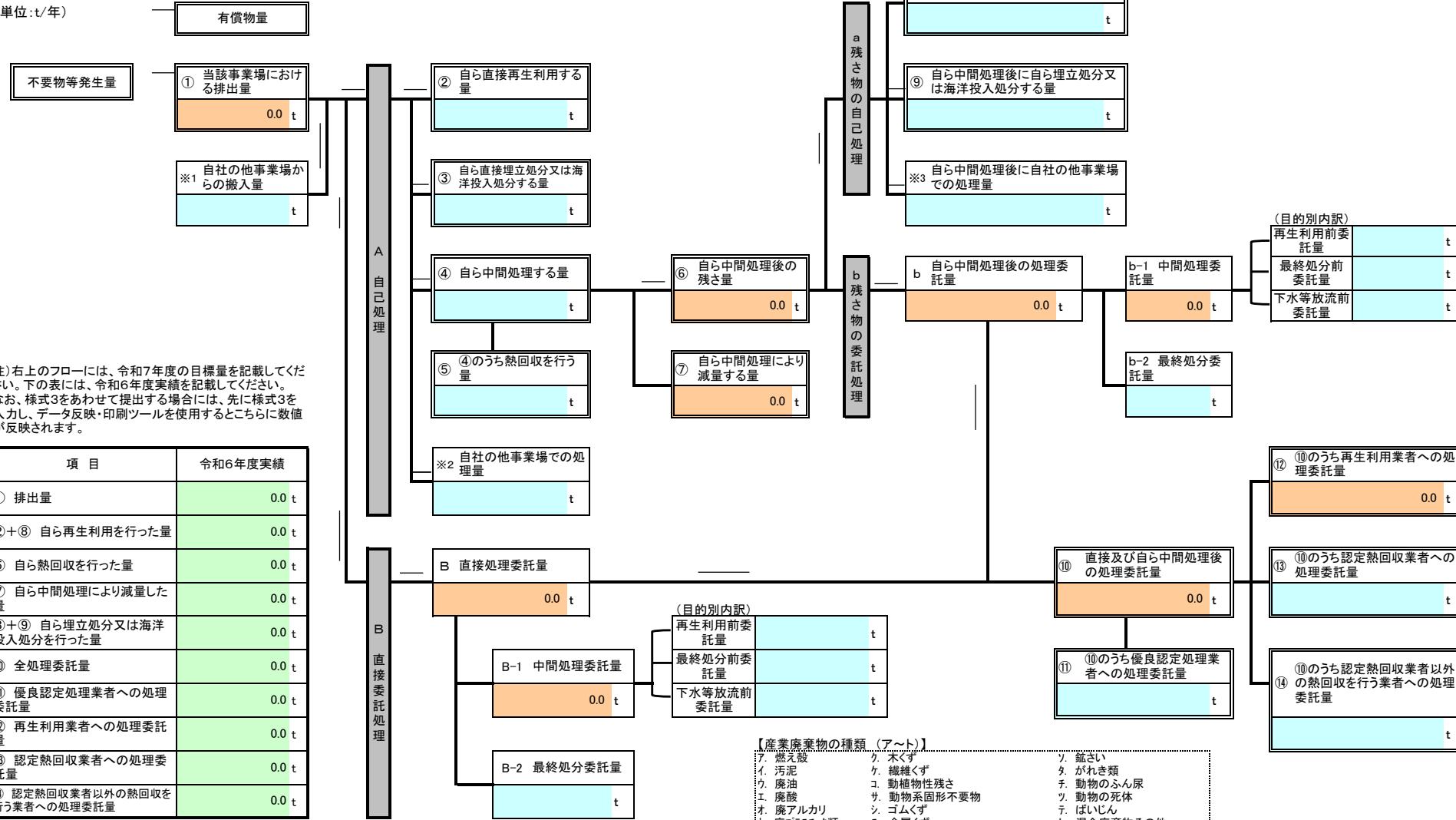
## 別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ウ. 廃油
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

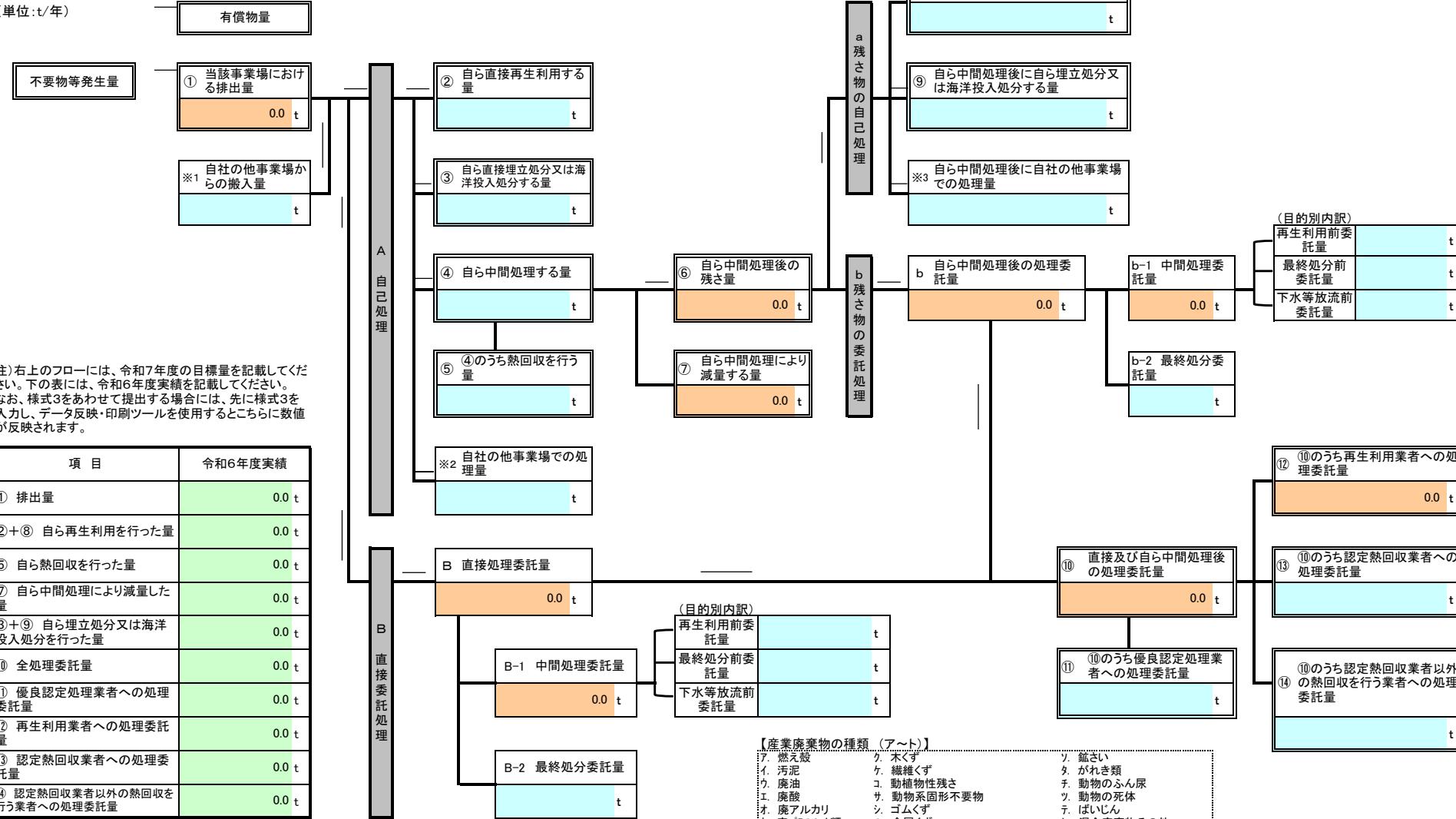
## 別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	工、廃酸
------------------	------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



# 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

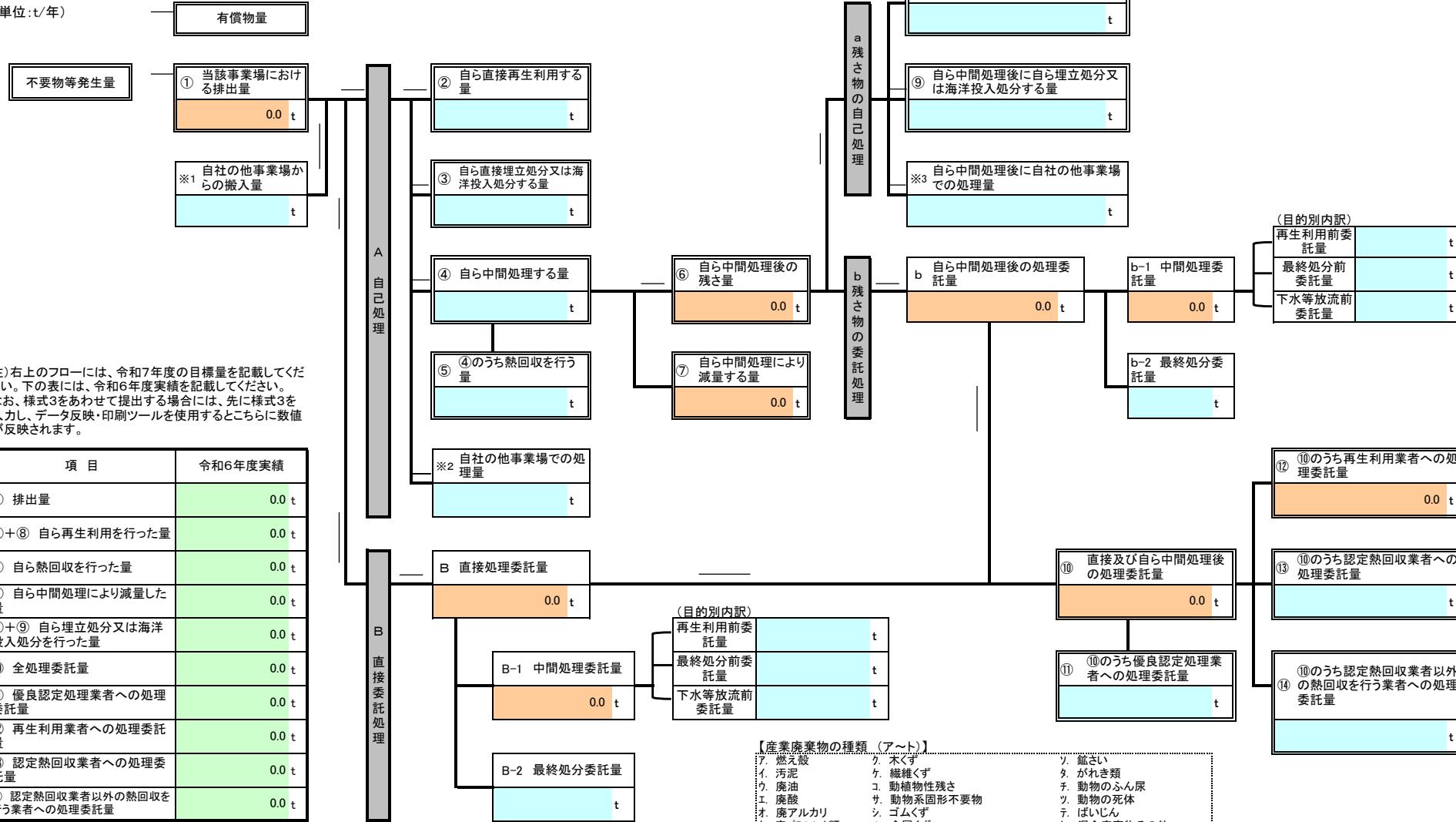
## 別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	オ. 廃アルカリ
------------------	----------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

## 別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	力. 廃プラスチック類
------------------	-------------

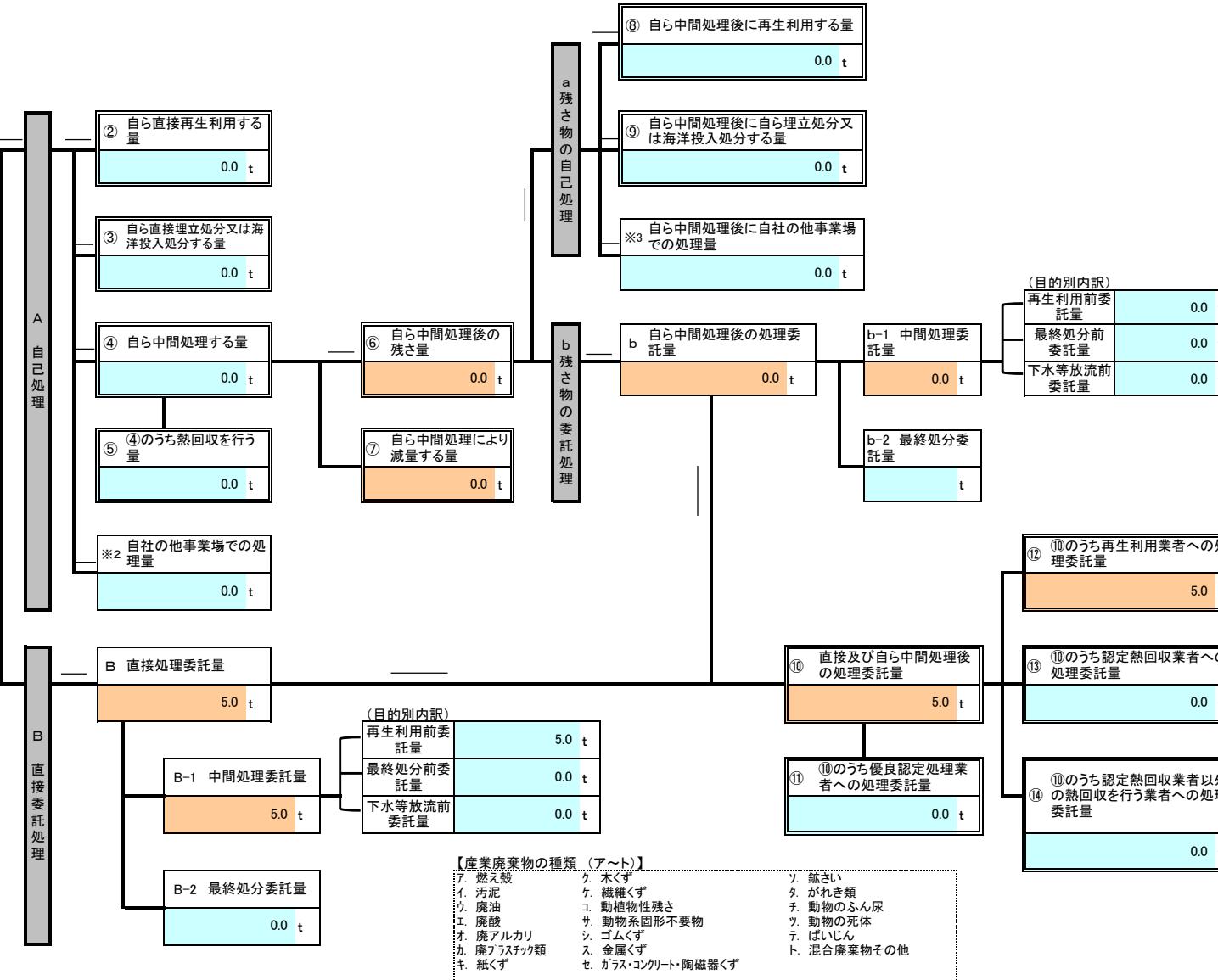
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。  
下の表には、令和6年度実績を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を  
入りし、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値  
が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	8.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	8.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	8.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



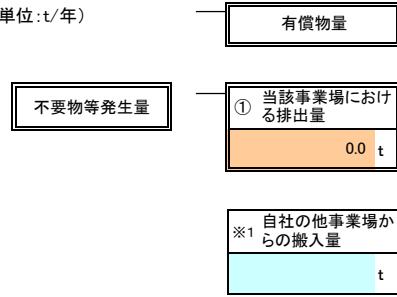
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	キ. 紙くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

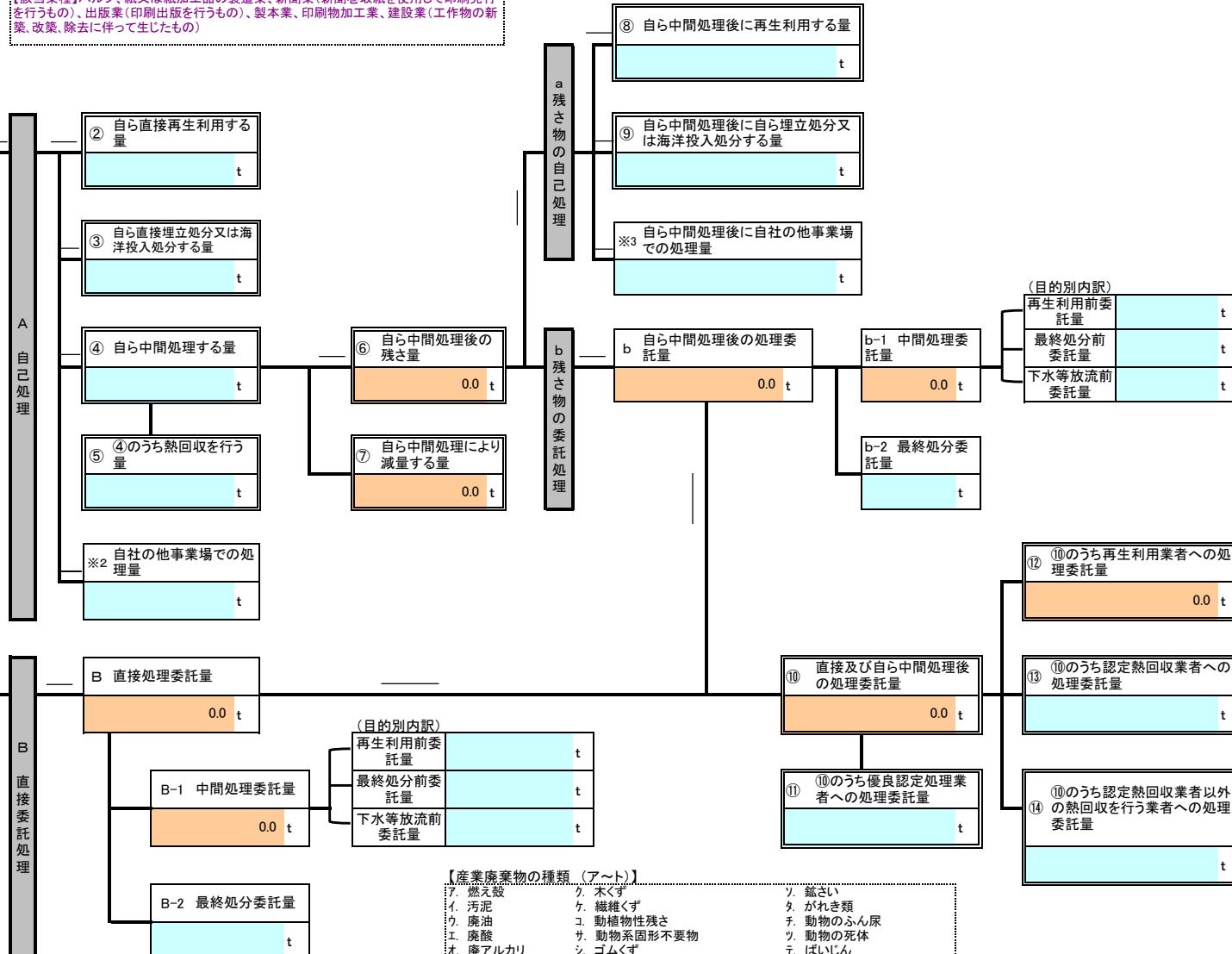
(单位:t/年)



注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業(新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷物加工業、建設業(工作物の新築・改築、除去に伴って生じたもの)



# 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

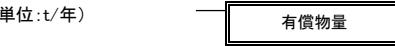
## 別紙処理フロー

### 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ク. 木くず
------------------	--------

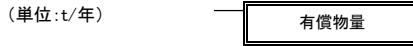
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



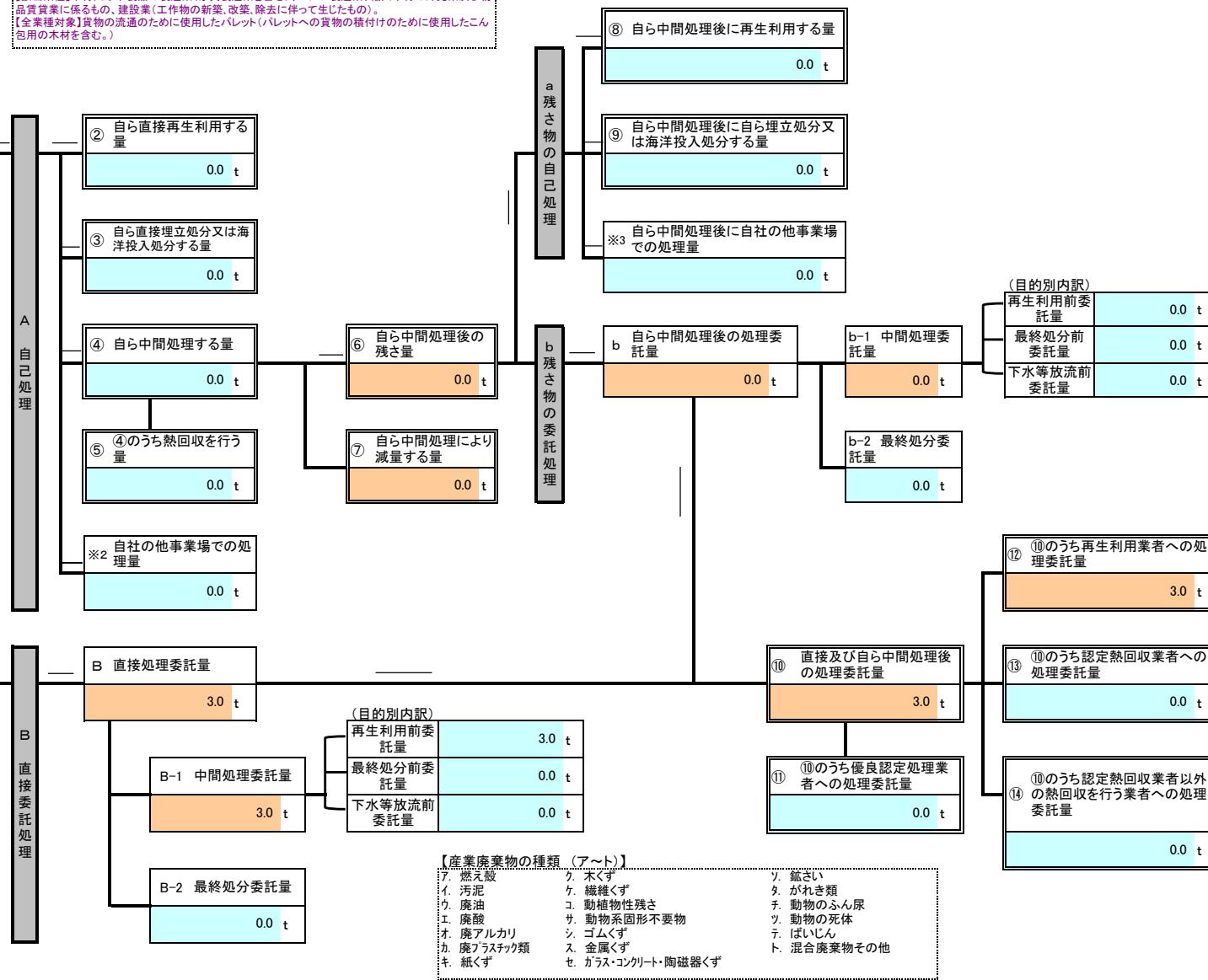
「木くず」には業種指定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、ハーフ製造業、輸入木材の卸売業及び物品販賣業に係るもの、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)。  
【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材を含む。)

事業場名称 : 世紀東急工業株式会社 港南営業所



注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。  
下の表には、令和6年度実績を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を  
入りし、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値  
が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	6.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	6.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.4 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



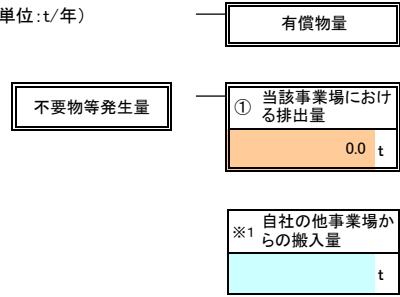
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ケ、繊維くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

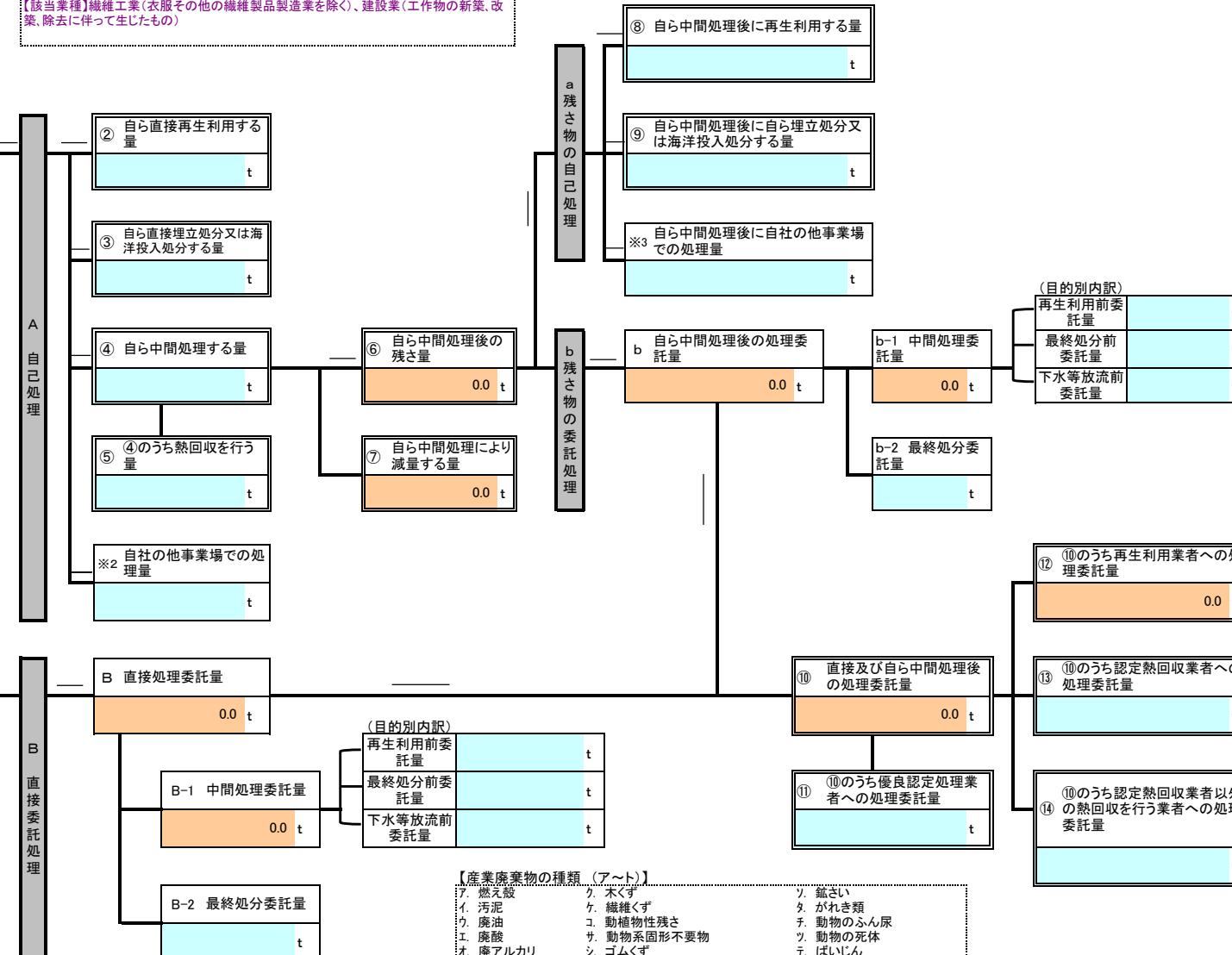
(单位:t/年)



注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です  
【該当業種】繊維工業（衣服その他の繊維製品製造業を除く）、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）



# 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

## 別紙処理フロー

### 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
コ. 動植物性残さ

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量  
0.0 t

自社の他事業場からの搬入量  
t

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】食料品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

自ら直接再生利用する量  
t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量  
t

自ら中間処理する量  
t

④のうち熱回収を行う量  
t

※1 自社の他事業場での処理量  
t

自ら中間処理により減量した量  
t

③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量  
t

⑩ 全処理委託量  
t

⑪ 優良認定処理業者への処理委託量  
t

⑫ 再生利用業者への処理委託量  
t

⑬ 認定熱回収業者への処理委託量  
t

⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
t

自ら中間処理後に再生利用する量  
t

自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t

自ら中間処理後の中間処理委託量  
0.0 t

自ら中間処理により減量する量  
0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量  
t

自ら中間処理後の中間処理委託量  
0.0 t

事業場名称 : 世紀東急工業株式会社 港南営業所

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量  
t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t

自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量  
t

b-1 中間処理委託量  
0.0 t

b-2 最終処分委託量  
t

⑫ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量  
0.0 t

⑬ ⑪のうち認定熱回収業者への処理委託量  
t

⑪ ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量  
t

⑭ ⑪のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
t

2-2 法定 ○ 自主

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

ア. 燃え殻 イ. 汚泥 ウ. 廃油 エ. 廃酸 オ. 廃アルカリ カ. 廃プラスチック類 キ. 紙くず

ラ. 木くず ル. 繊維くず ハ. 動植物性残さ ハ. 動物系固形不要物 シ. コムくず ハ. 金属くず

タ. がれき類 チ. 動物のふん尿 ヲ. 動物の死体 テ. ぱいじん

リ. 鉛さい ラ. がれき類 ヲ. 動物の死体 テ. ぱいじん ド. 混合廃棄物その他

# 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

## 別紙処理フロー

### 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	サ. 動物系固形不要物
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

\*1 自社の他事業場からの搬入量

t

「動物系固形不要物」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】と畜場においてとさし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

0.0 t

⑤ 自ら熱回収を行った量

t

⑦ 自ら中間処理により減量した量

t

⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

t

⑩ 全処理委託量

t

⑪ 優良認定処理業者への処理委託量

t

⑫ 再生利用業者への処理委託量

t

⑬ 認定熱回収業者への処理委託量

t

⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

t

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

t

⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量

t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

t

⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量

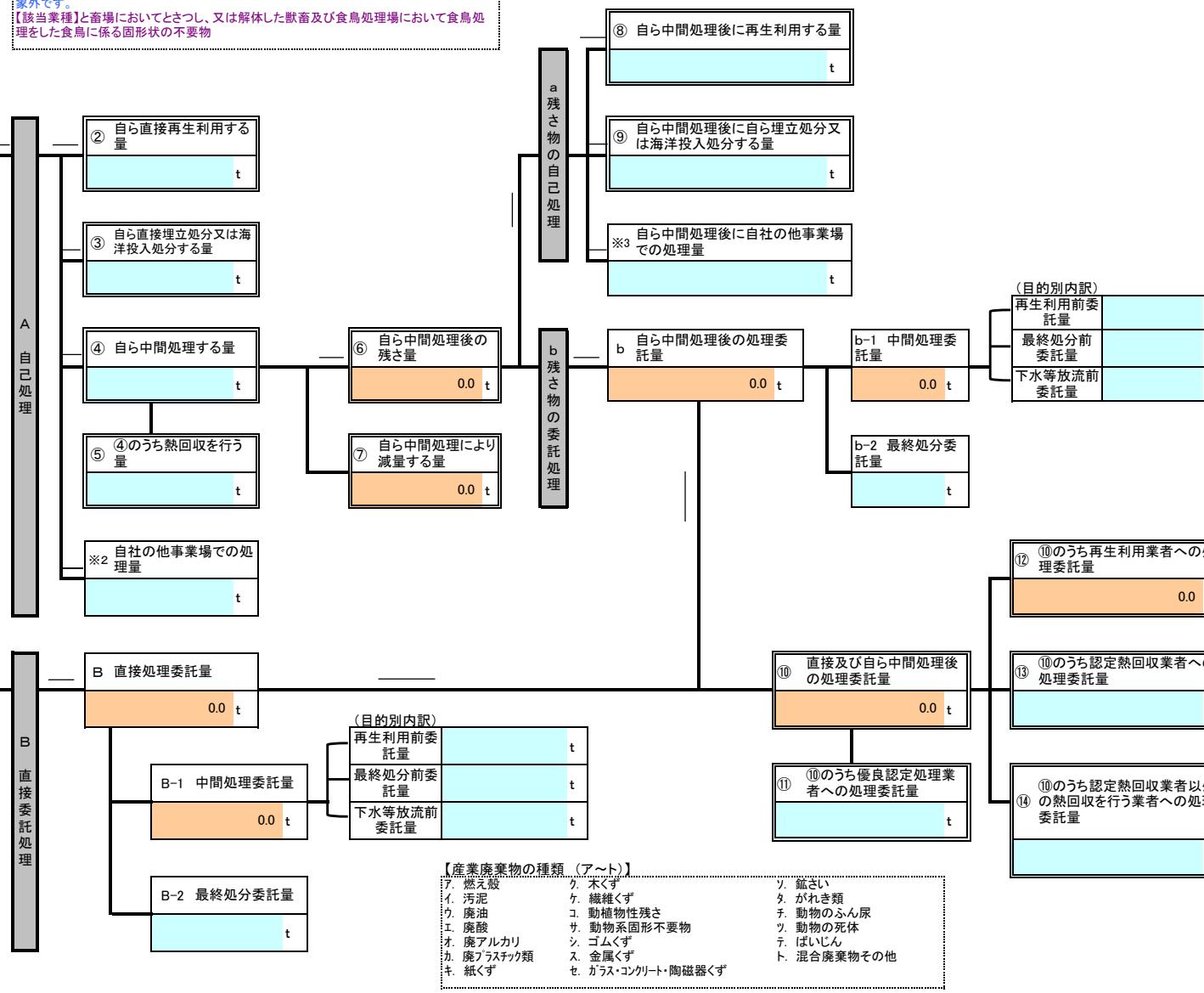
t

⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

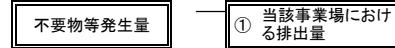
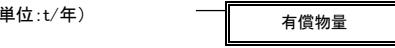
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	シ、ゴムくず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



※1 自社の他事業場からの搬入量

t

※2 当該事業場での処理量

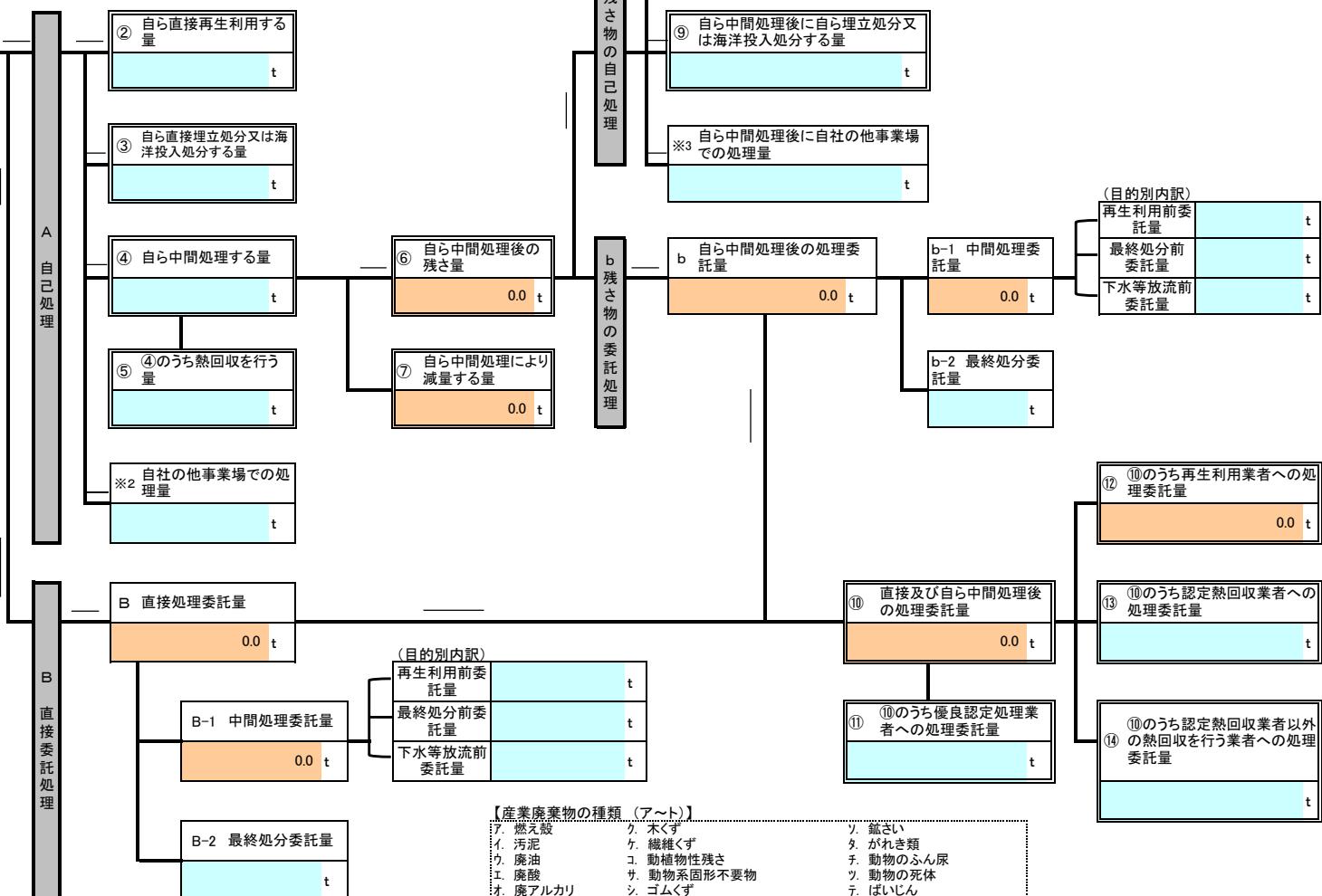
t

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

t

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

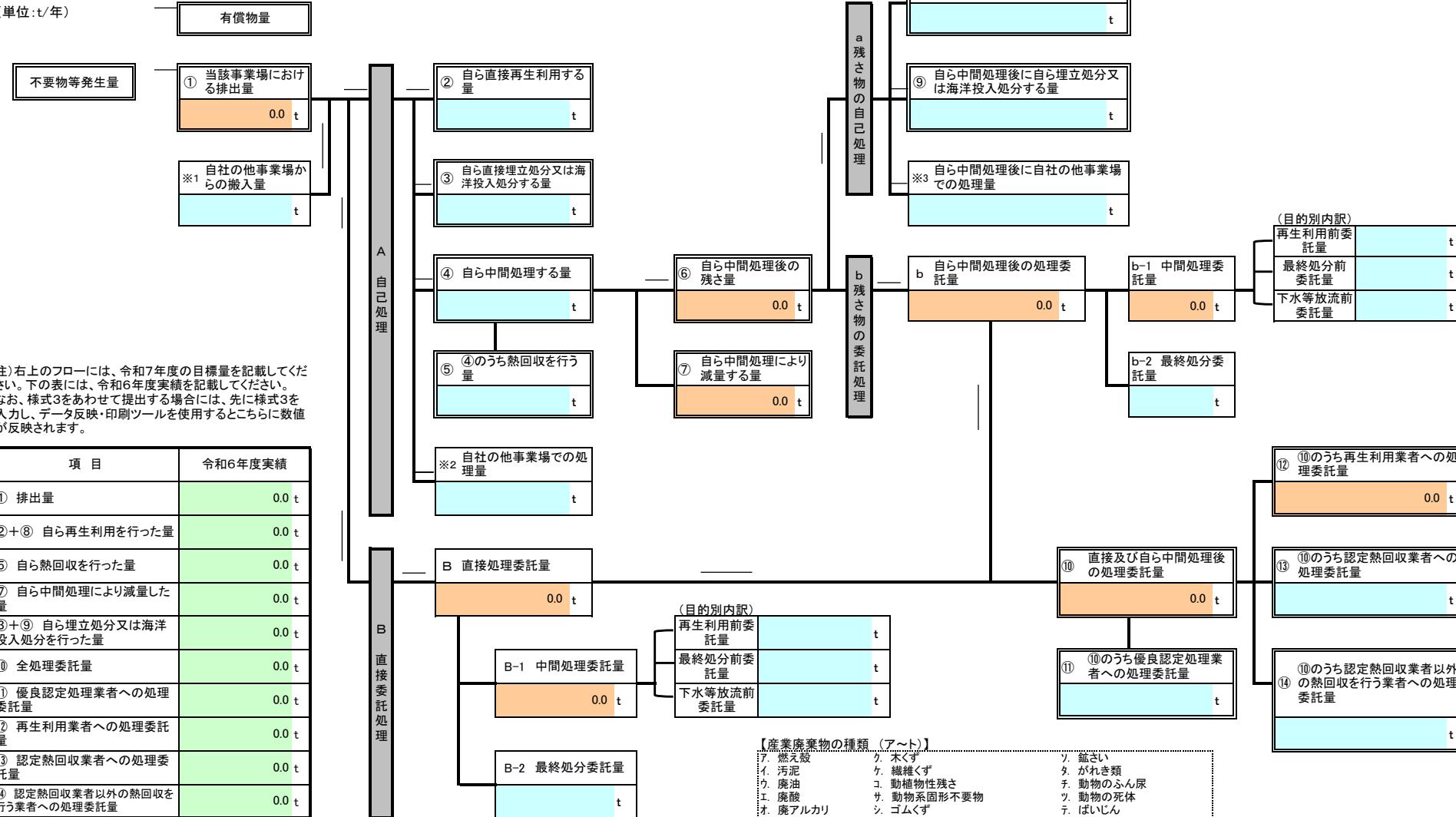
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス、金属くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

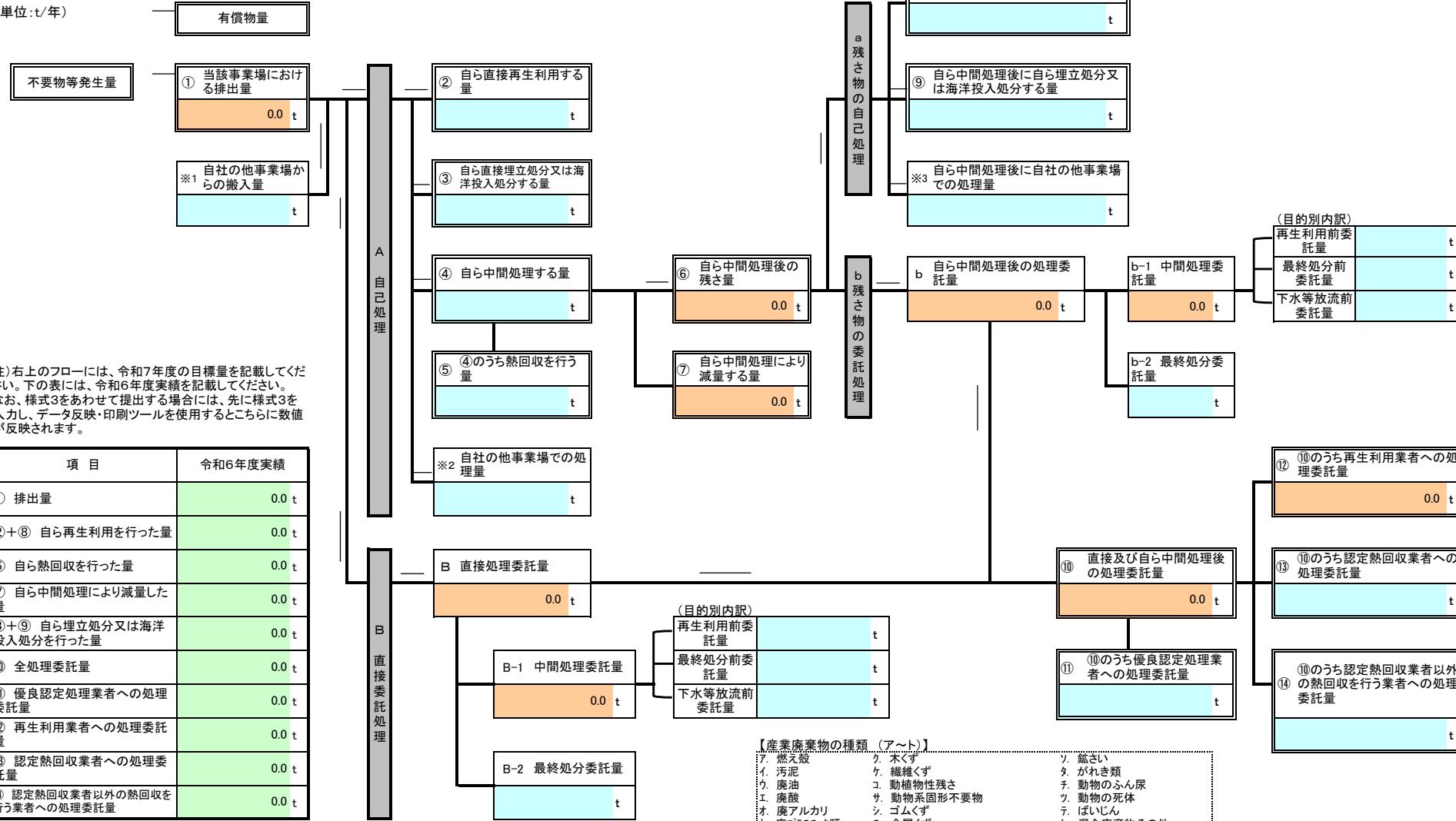
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	七. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
------------------	---------------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ソ. 鉱さい
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

t

⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量

0.0 t

⑪ のうち優良認定処理業者への処理委託量

t

⑫ 再生利用業者への処理委託量

t

⑬ 認定熱回収業者への処理委託量

t

⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

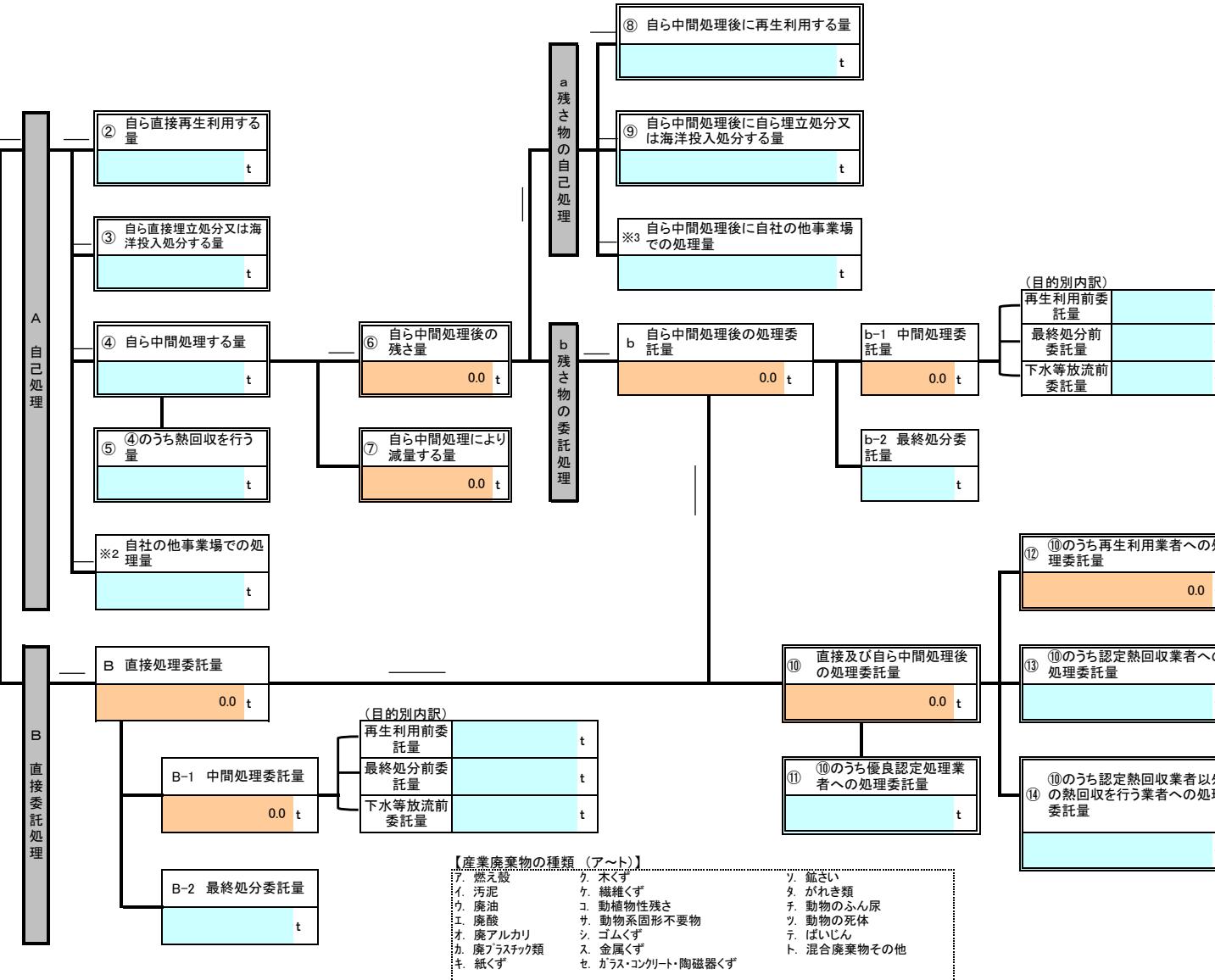
t

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。

下の表には、令和6年度実績を記載してください。

なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ. がれき類
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



※1 当該事業場における排出量

タ. がれき類

※2 自社の他事業場からの搬入量

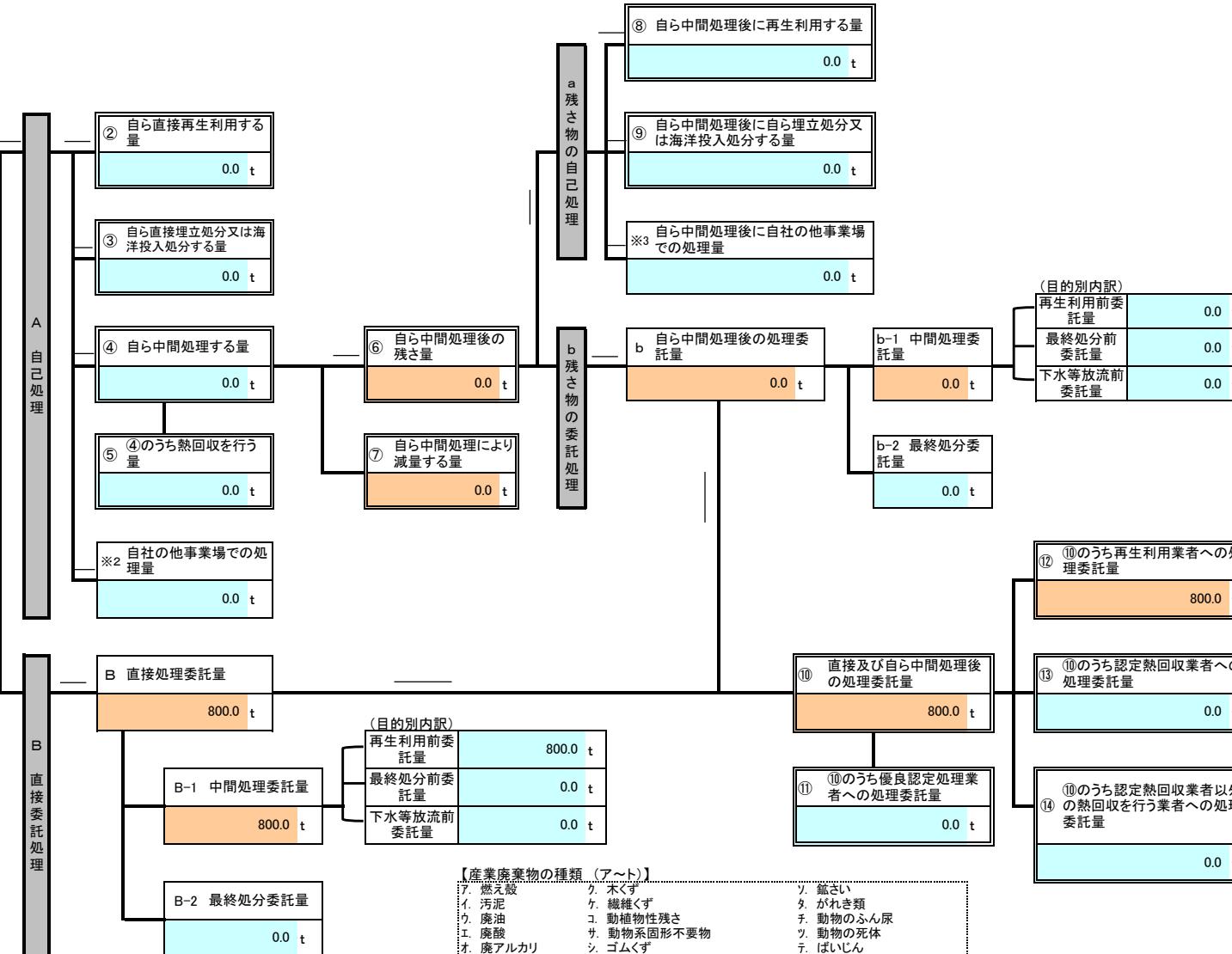
※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。

下の表には、令和6年度実績を記載してください。

なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	1,956.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,956.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,956.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不要物
- シ. コムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- タ. 木くず
- リ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

別紙処理フロー

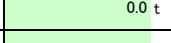
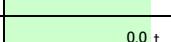
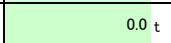
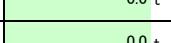
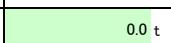
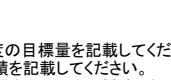
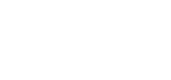
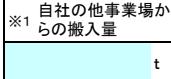
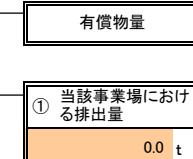
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	チ. 動物のふん尿
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

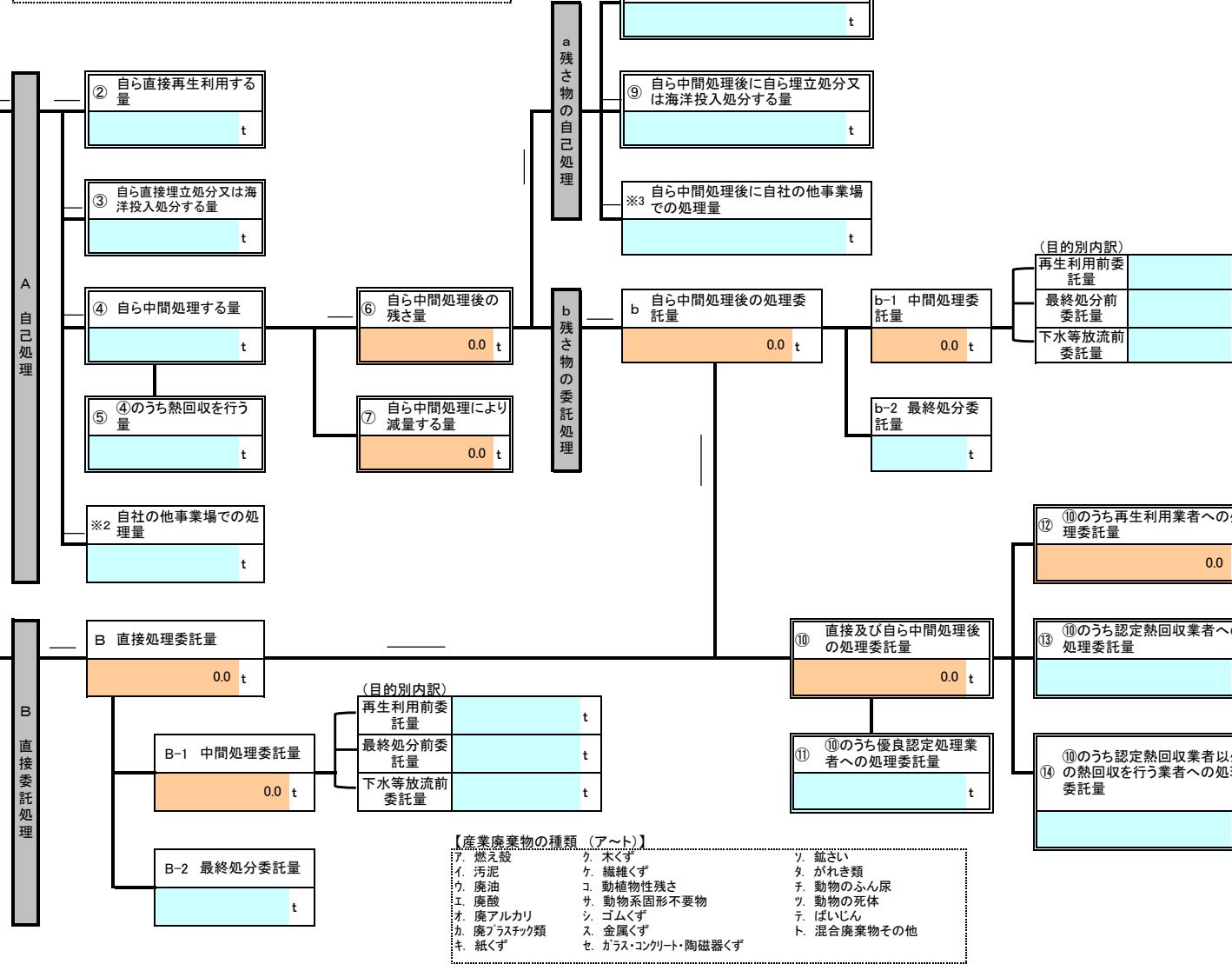


不要物等発生量



「動物のふん尿」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】畜産農業

事業場名称 : 世紀東急工業株式会社 港南営業所



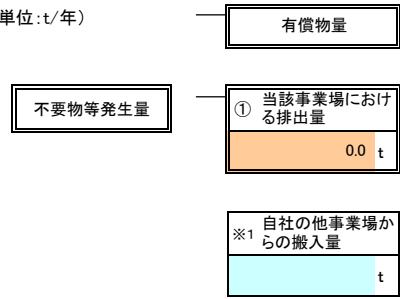
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ツ. 動物の死体
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

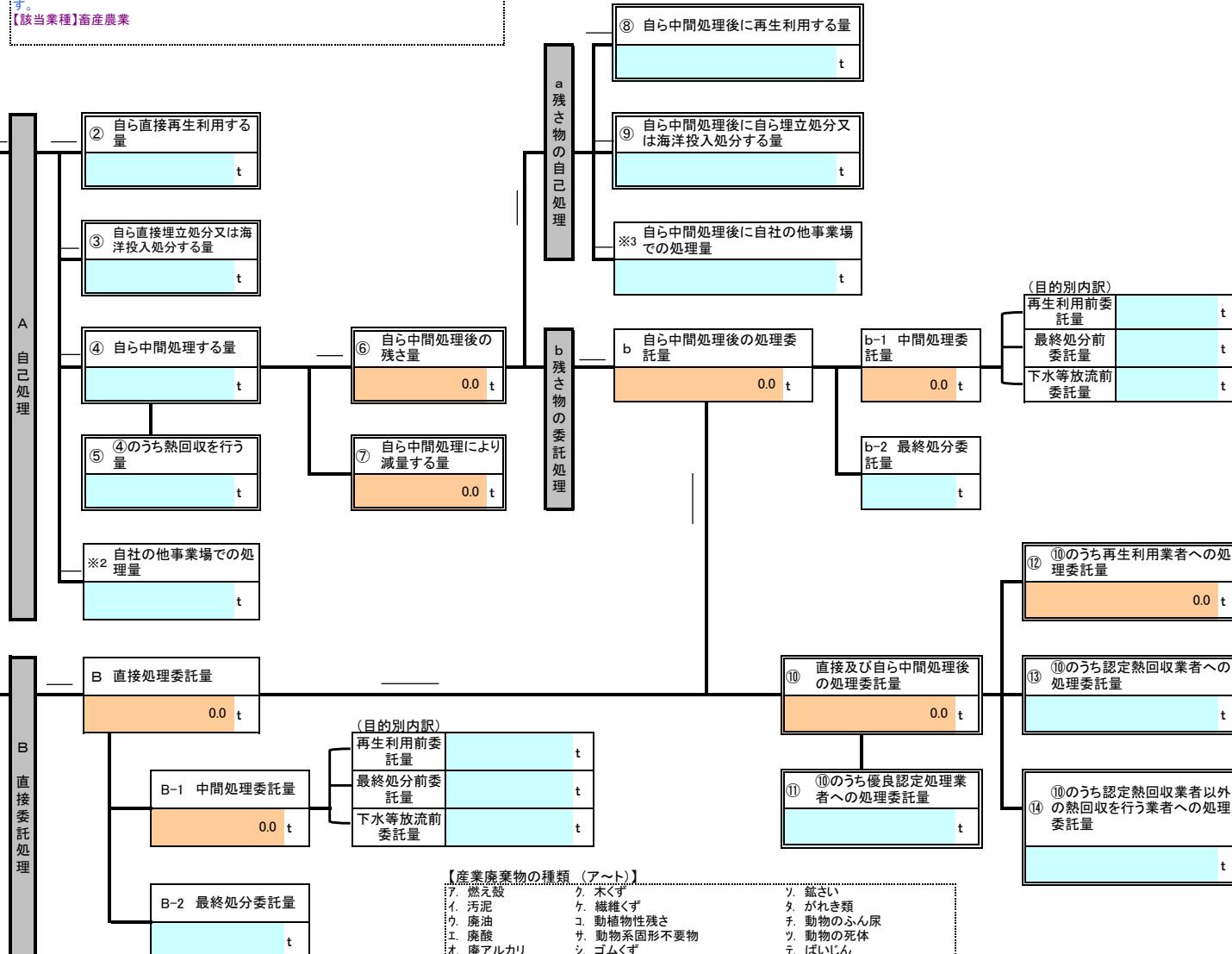
(单位:t/年)



注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

「動物の死体」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

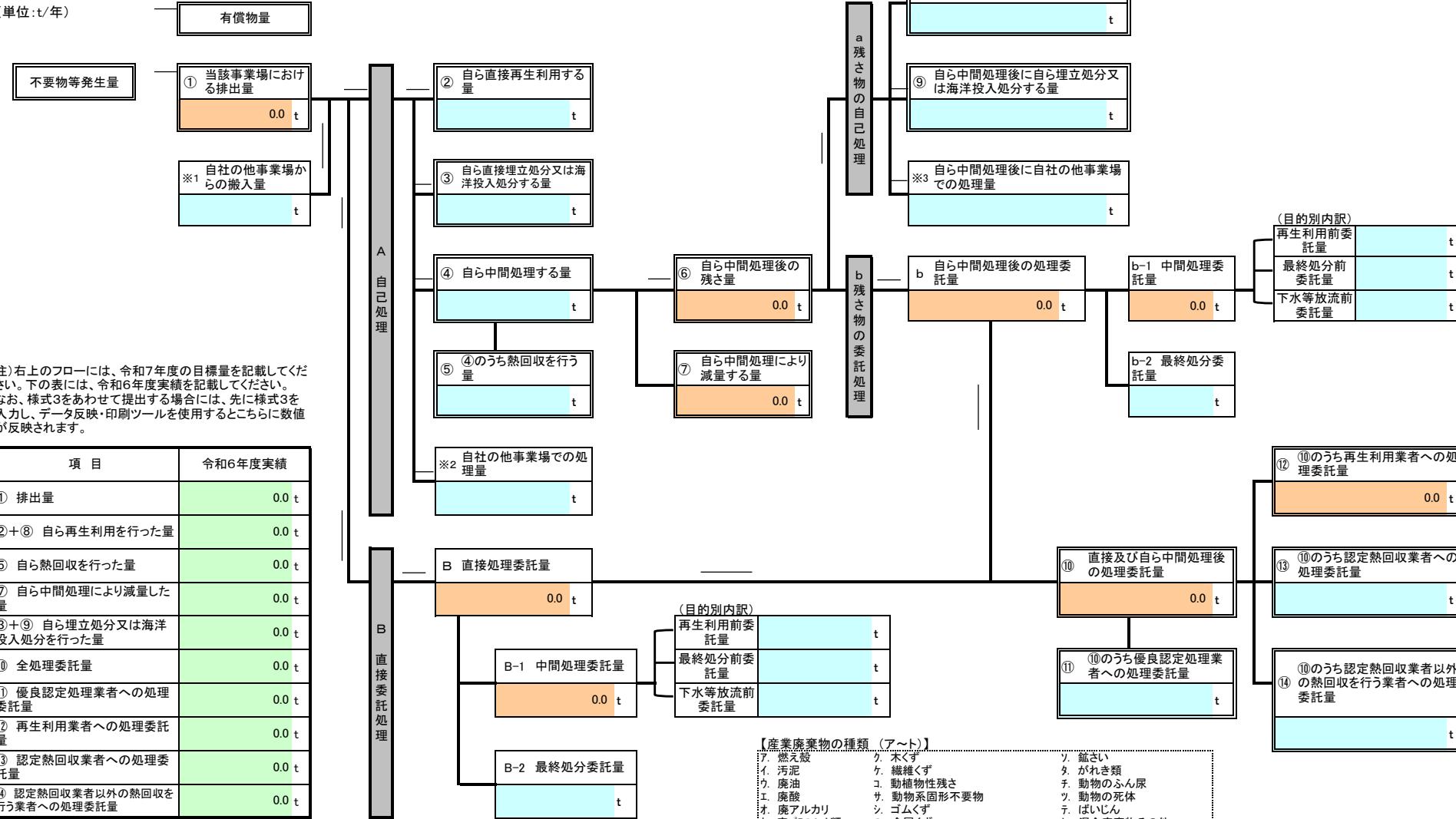
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	テ. ぱいじん
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



## 産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
○		

## 別紙処理フロー

## 令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ト. 混合廃棄物その他
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



※1 当該事業場における排出量

有償付量

自社の他事業場からの搬入量

※2 当該事業場における排出量

自ら直接再生利用する量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

自ら中間処理する量

自ら中間処理により減量する量

自ら中間処理後に再生利用する量

自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

自ら中間処理後の中間処理委託量

自ら中間処理により減量する量

直接及び自ら中間処理後の処理委託量

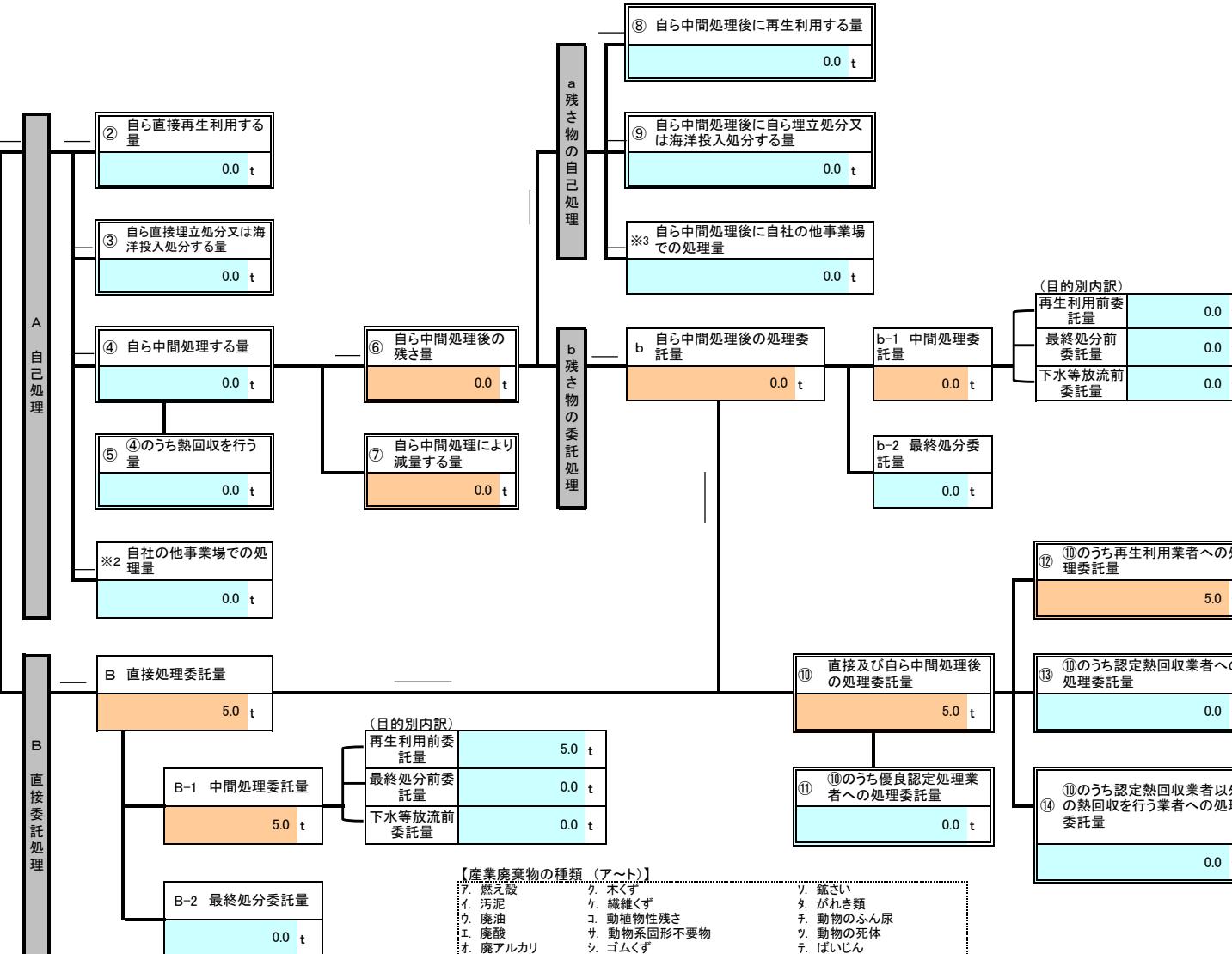
再生利用業者への処理委託量

認定熱回収業者への処理委託量

認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	10.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	10.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



事業場名称 : 世紀東急工業株式会社 港南営業所

産業廃棄物処理計画書

2-1	法定 ○	自主
-----	---------	----

(単位:トン)

別紙一括

事業場名称：世紀東急工業株式会社 港南営業所

(単位:トン)